



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その77

岡崎市北部にある「西光寺」の本堂で、2005年に完成しました。設計は「SUPER-OS.」の吉村英孝氏です。2007年にはグッドデザイン賞を受賞しています。コールテン鋼で覆われた、デコボコした外観は、お寺らしくないようですが、落ち着いたサビ色は、不思議に、「和」を感じさせます。内部は、窓から入る外光により、明るくも、荘厳な雰囲気には満ちています。

CURRENTLY WORKS



調剤薬局の新築計画 その1

調剤薬局の移転新築計画です。現在の間口の狭い場所から、150m先の角地へ移転することになり、視認性を高めるとともに、地域への貢献を考慮してデザインしました。屋号の頭文字「M」を協調し、一見、薬局には見えないような…しかし近隣の方々には気軽に訪れて頂けるような…そんなコンセプトをクライアントと共有しながら設計を進めて来ました。

PRIVATE TOPICS



岡本の「日々雑感」

アドベントカレンダーを知っていますか？ クリスマスまでの24日間を数えるために始まったようです。我が家は、12月1日から毎日、マスを開けるとお菓子が出てくるタイプで、毎日姉弟が大喜びで開けています。年末のカウントダウン、Wカップ試合開始まで、あと何時間、何分何秒！指折り数えて楽しみにする事は、昔から、世界共通の気持ちなのですね！

EDITIONAL NOTE

江戸時代の商売は、掛け売りが主で、支払いは盆と暮れの2回の一括払いでした。大晦日には商人が取り立てに走り回り、金がない輩は、居留守・泣き落とし・開き直り…期限の午前6時まで、あの手この手で逃げ回っていました。期限を過ぎたら借金は帳消しですから、なんととも大らかな時代でした。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島